

## 越夏ハクチョウの農業被害

沢田 隆

925-0047 石川県羽咋市御坊山町 13-3, VYU04102@nifty.ne.jp

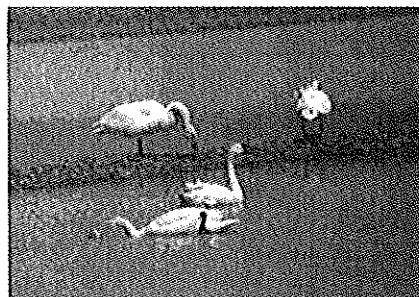
石川県邑知潟では、自然飛来のコブハクチョウ 2羽、放棄コブハクチョウ 4羽が通年生息する。他に高圧送電線等に落鳥、飛べないコブハクチョウ 4~6羽が越夏する。これらは群れで活動、農業被害やコブハクチョウの繁殖などで問題を抱えている。

### 農業被害

採食は河川など自然の草本類である、潟はコンクリート護岸化で葦が一部残るものの植物相は貧相化、必然的に潟につながる河川の土製堰堤箇所での採食が多い。河川は田へ続き、田植え後の苗を踏み荒らす場合もある。群れはほとんどが飛ばず歩行移動の為、被害は局地的に甚大となるが、広範囲に拡散していない。



稲苗の踏み荒らし



田植え準備後の田で採食

### コブハクチョウの繁殖

コブハクチョウは繁殖期に中州などで産卵、増水等で孵化迄に到らなかったが 2005



ペアの後ろに孵化後まもない幼鳥

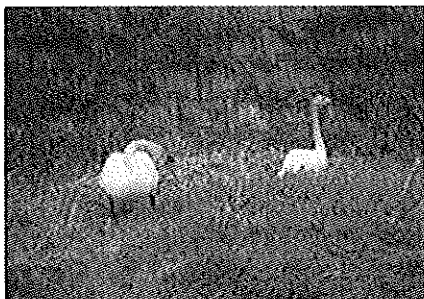


浮き巣に5個産卵、孵化失敗例(2004年)

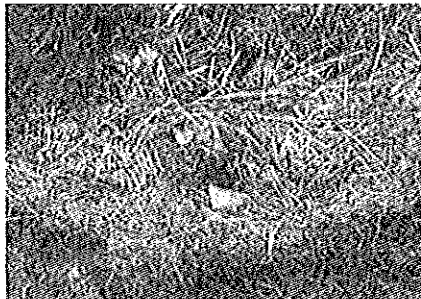
年5月に初めて幼鳥1羽が生まれた。繁殖は報道され、孵化後1ヶ月で幼鳥は確認出来なくなった。自然死か関係機関による捕獲か不明。

#### コハクチョウとコブハクチョウの繁殖行為

送電線等に落鳥の越夏コハクチョウとコブハクチョウがペアで産座を作り、抱卵行為に到ったが卵は確認できず産座内に空き缶が残っていた。同様繁殖行為は2シーズン続いた。



産座補修のペア



産座内には空き缶が